



四小だより

いちょう

平成27年 3月18日号

山形市立第四小学校
校長 坂本 澄子

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

<児童数 189名>

成長を確認し次の意欲へ

今年度も早いもので明日の卒業式を残すばかりとなりました。

この一年、子どもたちは一人一人が「なりたい自分」をめざし、目標に向かって努力してきました。いろいろな人とのつながりの中で課題解決をとおして自分を更新しようとする子どもの姿が多く見られました。その傍らには、いつも子どもの挑戦や努力を見守り、支え、時には、方向付けをしてくれる教師の姿がありました。それが、一人一人の大きな成長につながっていると実感しています。

今日の修了式では、この一年間の子どもたちの成長を学年ごとに紹介しました。今年度の自分の成長をふり振り返り、次になりたい自分を再確認することができたと思います。

明日の卒業式は、「ありがとう」「おめでとう」の気持ちを込めていい式を創り上げてくれることでしょう。期待しています。

保護者の皆様には、この一年間、温かいご理解とご協力をいただき心から感謝いたします。ありがとうございました。

3月20日からは18日間の春休みに入ります。陽気も暖くなり、子どもたちにとっても心が浮き浮きしてくる時期ですが、この春休みは、進学や進級へ向けて準備をする大切な時です。生活のリズムがくずれないように、ご家庭での声かけをよろしくお願いいたします。また、雪が融けて、車のスピードも速くなってきています。交通事故にあうことのないように、みんなで見守っていききたいものです。自転車の乗り方等も危ない様子を見かけたら一声お願いします。安全で楽しく充実した春休みになりますようお願いいたします。

この一年間のご理解とご協力に感謝いたします。



クルーズ班で「思い出ランチ」



「思い出ランチ」後は「だるまさんが、ころんだ！」



「任せてください！」音で引き継いだ部活お別れ会



やさしさの輪が広がったスマイル学年への感謝の会



「いい音づくりで四小の歌声を支えてください」

旧部長から新部長へ

<修了式 校長の話より>

今日は、一年間の学習がすべて修了する日です。

今年は、「やさしさいっぱい」の四小にしよう」を目標にして取り組んできました。皆さんは、やさしさはどう捉えて、どのように行動に表しましたか。明るい挨拶をする、階段を足音を立てないで上り下りする、オールジャンプで背中を押してあげる等々、いろいろあると思います。

また、2月には、四小のゆるキャラ「いちよリン」が誕生し、思いやりを広げようという目標ができましたね。「やさしさ」と「思いやり」はどう違うのでしょうか。私は、どちらも相手のことを気遣うことだと思います。これからも、自分は、やさしさや思いやりをどう表していくかを考えながら生活してほしいと思います。

さて、この一年で、皆さんは、大きく成長しました。それぞれの学年での成長を振り返ってみます。

たんぽぽ学年の皆さんは、体も心も大きく成長し、できることが増えました。来年入学する新一年生との交流会で、楽しんでもらえるようにと知恵を出し合って計画、準備し、当日は、笑顔といっぱいの心配りでお世話することができました。きっと、四小に入学するのを楽しみにしていることでしょう。4月からは、新一年生に四小のことを優しく教えてください。期待しています。全員、二年生に進級です。

つばき学年のよさは、何事にも一生懸命に取り組み、自分の考えをはっきり言えることです。また、2年生であっても、自分でできることは人を頼らず、自分でやろうとすることです。とりわけ、一年生との交流活動では、相手のことを考えやさしく接し、心と心が通じ合いました。4月からは、教室も2階になります。みんなで力を合わせてますますパワーアップしてください。全員、3年生に進級です。

きらめき学年は、クラスが一つになって、新しい友だちとのつながりを大切にしてきました。お互いのよさを見つけ認め合いながら、つながりを深めることができたと思います。また、校外に出て、様々な体験活動をしました。何事にもめあてを持って取り組み、学年や学校を良くしようとするその姿勢は、あなたたちを大きく成長させました。来年はいよいよ上学年の仲間入りです。クラスの絆を一層深め、四小をよくするために力を発揮してください。全員、4年生に進級です。

ハート学年の皆さんは、四小のゆるキャラ「いちよリン」誕生めざして、心を一つにして取り組んできました。次々と出てくる難題に、みんなで知恵を出し合い、解決策を見つけ出す過程で、お互いのよさに気づき、力を合わせることの心地よさを感じたと思います。その団結力を、4月からは、高学年として6年生とともに発揮し、思いやりのある学校づくりをしてください。期待しています。全員、5年生に進級です。

きぼう学年の皆さんは、5年生になって、クラスの仲間との関わり方を見つめ直し、お互いのよさを尊重しながら、よりよいくらしをつくってきました。クルーズ班活動や児童会の仕事でも、次のリーダーとして力を発揮しました。特に、6年生に感謝する会へ向けての取り組みは、1～4年生へのわかりやすい提示と、きめ細かな準備、そして当日の運営で、感謝の気持ちがあふれる温かい集会になりました。来年度は、先頭に立ち、あなたたちの姿で四小を引っ張ってってください。期待しています。全員、6年生に進級です。

明るく素直で賢い**スマイル学年**は、いつも笑顔で四小をリードしてくれました。明日はいよいよ卒業式です。小学校六年間の生活を締めくくる大切な節目の日です。

人は成長していくとき、いくつかの節目があります。それは、人生を「竹の節」にたとえているのです。竹は、ひょろりと細長く弾力性があり、一見するとひ弱で頼りなさそうですが、その成長は、ただ上へ上へと伸びるだけでなく、必ずくくりとなる「節」を持っています。この「節」がしっかりと存在することによって、竹の幹をがっちり支えています。竹が風や雪に耐え、弓のように湾曲しながらも挫折することなく、また上に向かって伸びるためにも、「節」はなくてはならないものなのです。卒業式は、その大切な節目です。これまでの学びの集大成として一番いい姿で自分を表現してください。

今年一年、なりたい自分をめざして努力する皆さんの傍らには、いつも、皆さんの挑戦や努力を見守り、支え、時には、方向付けをしてくださる先生方がいました。それが、一人一人の大きな成長につながっていると実感しています。明日の卒業式は「ありがとう」の気持ちを込めて、みなでいい式を創り上げましょう。